

## たかしま有機農法研究会の活動支援

高島県事務所農産普及課

### 【普及活動のねらい・対象】

高島市には、水稻で農薬や化学肥料削減に取り組んでいる農業者が少なからずおられます。平成16年に、無除草剤栽培グループの結成を試みましたが、目的やメリットが十分理解されず、結成には至りませんでした。しかし、その後、県が推進する環境こだわり農業の普及もあり、有機農業を目指す農業者が増えたことから、高島市が農業者に働きかけ、平成19年5月に13名で「たかしま有機農法研究会」が発足しました。



たかしま有機農法研究会設立会議

当初は育苗に適した有機肥料が不明で、化学肥料を使わざるを得ない状況でした。また、雑草対策では、多くの技術が試行錯誤されていましたが、効果が不安定で単収も300kg程度と低水準でした。このことから、育苗に適した有機肥料の選定と、効果的な抑草技術の確立を目的に研究会活動を支援しました。

### 【普及活動の成果】

#### 育苗に適した有機肥料の選定

会員の育苗状況を調査し、使用されている有機肥料を含めた資材の効果確認育苗試験をしました。その結果、育苗箱に乾粕60gを播種してプール育苗する場合は、追肥をしなくても4葉期以上まで育苗可能な有機肥料の選定と施肥量の基準ができました。

#### 抑草技術の効果的な実施方法の確立

会員がそれぞれに工夫する抑草技術の効果を残草量から検証し、2回代かきでは、耕耘時の碎土の程度や作業間隔が重要であり、米ぬか散布や機械除草では作業時期の早晩で効果が異なることがわかりました。

#### 研究会活動の支援

毎月の定例会等では、技術やJAS法等の制度について説明し、年6回のほ場巡回では農業者とともに生育の確認を通して技術指導しました。この結果、平成20年の単収は420kgに増加して食味値も高まりました。一方、会員は20名に増え、面積も18haから24haに拡大しました。

今後も、ほ場での技術指導を中心に研究会活動を支援していきます。



育苗の技術指導